２００５年１１月３０日

ＦＡＸ．０４８－７３４－２５９３
春日部市役所　広報公聴課気付
春日部市長　　石川良三様
春日部保健所　保健予防推進担当　御中

〒●●●－●●●●
東京都足立区●●●●●●●●●●●
半沢一宣

件名：東武鉄道の特急「スペーシア」の件に関する不明点の問い合わせ

冠省　過日は春日部保健所からの回答書の写しをお送りくださり、ありがとうございました。

私は、貴市保健所の担当者様が８月と１０月に春日部駅を訪問して「スペーシア」の問題の是正を促されていた事実を知り、驚かされました。

何が驚きかと申しますと、東武鉄道が、自らの迷惑・違法行為について２回も沿線自治体の担当者から苦情を受け、その改善を促されても、それに応じる様子を見せないことについてです。これはすなわち、自らの非を認め沿線住民との信頼関係の回復に努めようとする良識が、東武鉄道には存在していないことを、示していると考えられるからです。

東武鉄道は、今年３月に発生させた当地での踏切惨事に関する社内調査報告書（下記※）の６ページ冒頭に「平成１５年１月１日のコンプライアンス基本方針の社内制定」云々と記しています。従業員にはコンプライアンス（法令順守）精神の重要性を強調する一方で、対外的には自らの健康増進法違反行為の放置を正当化し続けるという、東武鉄道のダブルスタンダード（二重基準）については、理解に苦しむものがあります。

これは私だけでなく、「スペーシア」の春日部駅乗降口の問題に関する一連の経過を知れば、少なくない貴市市民も、同様の疑念を抱くのではないかと思われます。

現在私は、一連の問題について以下の疑問点がございます。年末に向かいご多忙のおり恐縮ですが、保健所の担当者様にもご照会のうえ、折り返しご教示いただければ幸いです。

①東武鉄道は、春日部駅での「スペーシア」乗降口の問題の改善に消極的な姿勢を取り続ける（あるいは改善が困難だとする）理由について、貴市保健所の担当者様へどのように説明しているのでしょうか。

②東武鉄道の本社ＣＳサービス課長様は、沿線自治体から同じ苦情が２回も寄せられたことについて春日部駅長様から報告を受けた後、一連の問題について貴市にどのような説明をされたのでしょうか。それとも、春日部駅長様から本社へは報告が上がっていないなどの理由で、本社からは貴市に対して何も説明がないのでしょうか。

③貴課では「スペーシア」の一連の問題について、貴市市民に何らかの形で公表されたことがございますでしょうか。ある場合は、関係する広報紙や、市民からの反応がわかる資料などをお送りいただけませんでしょうか（いずれもコピー可）。

以上

※東武鉄道のＨＰ（http://www.tobu.co.jp/）のトップページから
→「伊勢崎線竹ノ塚駅構内第３７号踏切道における死傷事故について（10/31）」
→「竹ノ塚踏切事故に関する安全対策の推進について＜ＰＤＦ＞（10/31追記）」
と進むと見つかります。

追記　竹ノ塚踏切死傷惨事関連のコンテンツは、２００８年８月現在「トップ→会社案内→ニュースリリース→２００５年度」と進むと見つかります。